

する取り組みをした2社が選ばれた。

今後とも、働く人が生きいきと輝き、安心して働けるように努める。

(岩田) 女性が働きやすい職場はみんなにとっても働きやすいものになり、人手不足の解消にもつながるはず。

岩田 熊本県では小中学校での男女混合名簿が進み、LGBTなどの性的マイノリティも含め、多様性を認め合おうという取り組みが行われていると思います。高校や特別支援学校での男女混合名簿の取り組みについて尋ねる。

教育長 特別支援学校では100% 県立高校では32.3%。今後多様性を重視し、現場と議論を深める。

(岩田) 潮谷知事時代のハーモニープランに定められていたことである。こういったことこそトップダウンで進めていってほしい。

② 成年年齢引き下げ等に伴う消費者問題について

岩田 成年年齢引き下げに伴う若者の消費者被害の拡大への懸念について熊本県ではこれまでどう取り組み、今後どうすすめていくのか。

また、消費者契約法の改正において若者(を中心とした)の対策は強化されたが、年齢にかかわらず知識不足や恐怖心好奇心を煽って不当に契約されたものは取り消すことができるというルール改善の国への働きかけについてどう考えられているか尋ねる。

環境生活部長 学校教育と連携した若者への消費者教育を重点プロジェクトと位置付けている。消費生活講座の出前授業も行っている。大学にも働きかける。

③ 防災意識について

岩田 県民アンケートの結果を見ると防災意識の風化が気になる。県としてのこれからの取り組みは?

知事公室長 指摘のとおり防災意識の低下が見られる。くまモン主役の啓発動画の製作を進めている。知事と関係市町村長とのインタビュー映像をデジタルアーカイブに掲載。これらを活用し次世代につなげていく。

(岩田) 教育と伝承が必要だと思います。

④ 消防採用での色覚検査等について

岩田 熊本県内の消防署においても採用時に色覚検査の実施状況、採用の可否に不均衡が生じていることに対して矛盾はないのか。厚労省や消防庁からの通知をきちんと反映するためにどうしていくのか尋ねる。

総務部長 各消防署で規模や職員配置、職員の育成の考え方に違いがあり、対応に差が生じたと思う。既にいくつかの消防本部では採用試験にむけ見直しを検討している。通知の趣旨を徹底するために周知につとめる。

⑤ 教職員の働き方改革について

岩田 前回質問をしたことに対するの答弁についてどう取り組んでいるのか、喫緊の課題である。

教育長 現状には強い危機感を持っている。管理職の意識改革を共有化している。今年度はタイムカードの導入、部活動指導員の配置を行った。学校閉庁日も実施し、連続休暇が取りやすくなったと現場からの声もある。現場やPTAの意見を聞きながらこれまで以上に強力に進める。

(岩田) 過労死のニュースが絶えない。とりくみのスピードを上げるべき。

政治活動報告



スペシャルオリンピック体操競技の表彰をしました。練習を重ねての大会に感動しました。



経済環境委員会視察で岡山県旭川ダム(水力電気)の改修工事の現場を見に行きました。



定例の県政報告会 暮らしの相談会には毎回新しい方の参加もあり、充実してきました。



ルフィ像の除幕式でグランド12の皆さんと!



 facebook
やっています!